

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	新妻 徹	会員番号:	5868	事務局整理記入欄	北海道 - 218
分水嶺区分:	宗谷丘陵180m地点～H0035の南東台地:H004とH0035の間	(3) 山行日:	2006年	1月	6日	(4) 天候:	風雪・積雪1.5m

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

L新妻 徹	5868								
掛水 孝幸	13214								
横須賀 邦子	13632								
計				3名				計	名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		ノースバレースキー場P202 218.7(反射板) 林道180地点 216.6SE台地(往復)											
アプローチ:		札幌 旭川 名寄 稚内 (R1077) ノースバレーCC (往復)											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	R1077最終人家	モイマ山							40		6:30	A-1	
分水嶺到達点	180m地点	モイマ山	141	56	19.5	45	24	36.2	180	10:00	10:10	B-2	(8), (9)
	216.6SE台地	宗谷	141	55	55.4	45	25	11.1	186	11:20	11:30	B-4	(8), (9)
(ここから引き返す)													
分水嶺離別点	180m地点	モイマ山	141	56	19.5	45	24	36.2	180	12:30	12:40	B-4	
歩行終了点	R1077最終人家	モイマ山							40	15:00		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):												8時間00分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

ノースバレーカントリークラブゴルフ場に隣接するスキー場も閉鎖されている。 スキー場リフト終点の東方1kmに反射板が設置されている。

(9) 水および植生に関連した特記事項

今回踏査した中央分水嶺は笹が密生している。 積雪1.5m

(10) その他の特記事項

スキーリフト終点がP202であり、その東方1kmの 218.7からの北眺は厳寒の白い丘陵が展開していた。 - 30 の粉雪をラッセルして、 216.6を目指したが風雪の為往路を引返した。 札幌からのロングアタックは車の運転を含めて3日間を必要とし、踏査距離は1.3kmであったが充実した行動であった。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: